

新総合計画の全体構成（素案）

Ⅰ．基本的な考え方

審議会・起草委員会の意見を反映し、

- ①市民にわかりやすい表現・構成・内容
- ②仙台らしさを基調として未来に希望をつなぐ視点を重視
- ③「市民の力」を重視
- ④4つの都市像の方向性を踏襲。統合した上位の目標を設定
- ⑤現行の基本構想・基本計画に重複感があったため、整理すると共に、分野（組織）横断的視点を盛り込む

Ⅱ．枠組み・スケジュール（案）

新総合計画＝基本構想＋基本計画＋実施計画

- 基本構想と基本計画は、審議会の答申を踏まえ平成23年仙台市議会第1回定例会に提案予定。
- 実施計画は、上記議決を踏まえ平成22年度中に策定予定。

基本構想の構成と骨子（案）

目次

1. 仙台の未来へ

- ・「ねばならない」という表現を改め、人口減少・低成長・地球環境の時代において、仙台の「資源」と「市民の力」で、将来に希望をつなぐような未来志向の記述

2. 仙台の市民力 ～行動する市民力～

- ・市民の知恵と力を合わせて未来を切り開く姿勢を示す

3. 仙台の将来目標

- ・市民に分かりやすいよう「都市像」を「将来目標」に変更
- ・4つの将来目標とそれらを統合した上位の目標を設定

4. 推進に向けて

- ・総合計画全体の推進に向けた基本的な考え方

1. 仙台の未来へ

- ・基本構想は、将来目標のもと、仙台市民と行政が手を携えて行動していくための指針

- ・仙台を取り巻く時代環境を的確に受け止め、誇るべき仙台の資源と市民の力を生かし、将来目標の実現を図る

<誇るべき仙台の資産>

杜の都の恵み、歴史と伝統、学都の知的資産や都市機能の集積、市民主導の文化・スポーツの取組み、全国に先駆けた市民活動の積重ね 等

<仙台を取り巻く時代環境>

- ①東北全体の人口減少 → 仙台の比重増 → 東北の持続的発展の牽引役
- ②世界的な温暖化対策の本格化 → 杜の都の蓄積を活かした先進性を発揮
- ③成熟経済下で強まる財政制約 → 担い手増など、知恵と工夫で独自の対応
- ④近い将来確実視される宮城県沖地震 → 先進的な備えと地域での支合い

2. 仙台の市民力

◎ 現行基本構想の基調である「市民主体の創造的な都市づくり」を発展
⇒「市民力」は仙台の誇る「資源」であり、将来目標の実現に不可欠
⇒「市民力」発揮のために重視すべき視点を示す

＜重視すべき視点（案）＞

- ・課題に対して主体的に行動する
- ・支え合い、ともに生きる
- ・知恵を集め、創造する

* 基本構想・基本計画の推進手法との関係で整理・検討が必要

* 仙台市民＝仙台に暮らす人、働く人、学ぶ人、企業・団体・NPO等

3. 仙台の将来目標（1）

◎ 4つの将来目標を統合する上位の理念・目標を設定（案）
「ひとが輝き 住み続けたい 杜の都」

（審）：「未来に恵みと希望を伝える仙台」

（現）：「市民主体の創造的な都市づくりを基調に据え都市
像が調和・融合した21世紀都市・仙台をめざす」

* 4つの将来目標の表現・内容について検討が必要

* 次頁の「想定分野」と基本計画の分野別計画の関係も検討が必要

3. 仙台の将来目標（2）

①未来を育み創造する学びの都

（審）未来を担う世代を大切に育て互いに学び合う暮らしができるまち

想定分野：子育て・教育・若者・生涯学習・研究開発・情報化・文化スポーツ・歴史伝統 等

②支え合う健やかな共生の都

（審）心身ともに健やかに安らかな暮らしができるまち

想定分野：社会福祉・高齢・障害・保健医療・男女共同参画・地域社会生活・消防 等

③自然と調和し持続可能な潤いの都

（審）地球環境を守り身近な自然に親しむ暮らしができるまち

想定分野：地球環境・土地利用・自然・資源循環 等

④東北を支え広く交流する活力の都

（審）東北の発展を応援し先導して世界と繋がる暮らしができるまち

想定分野：産業経済・都市整備・交通・物流・広域連携・国際交流 等

4. 推進に向けて

◎ 総合計画全体の推進にあたっての基本的な考え方を示す

* 今後、「基本計画の推進手法」の検討を踏まえて整理

基本計画の構成と骨子（案）

目次

1. 計画のフレーム

○10年の計画期間と人口フレーム 等

2. 計画の基本的考え方

○基本計画の特色、重点政策目標などの基本的考え方

3. 分野別計画

○政策分野別の計画。分野の組立は要検討

4. 区別計画

○総論と各区ごとの区別計画で構成

5. 基本計画の推進

○総合計画推進部分の各論

1. 計画のフレーム

①計画期間：2011年から2020年までの10年間

②人口フレーム

1900－2100年の国・東北・仙台の動向

計画期間内の仙台の夜間人口（人口構成）

昼間人口・産業別就業者数 等で構成

* 交流人口の方向性も記述

* 推計人口と政策的観点の関係は要検討

2. 計画の基本的考え方

◎基本計画の特色や10年の計画期間でめざすべき「重点政策目標」等の考え方を示す

- * 内容は、各局の個別計画検討の進捗状況等も踏まえ、引き続き検討
- * 横断的な視点に基づく対応や数値目標の設定について検討
- * 分野（組織）横断的な重点プロジェクト設定を検討

3. 分野別計画（1）

①政策分野ごとの動向・課題と施策体系

②施策体系ごとの基本目標と基本的施策

- * 政策分野は、わかりやすい説明とバランスを考慮して設定
- * 基本構想の「将来目標の達成状態」との関係性を含め、検討が必要

3. 分野別計画（2）

◎わかりやすさとバランスの視点

⇒ 2つの政策分野を設定

①「市民の暮らし」を向上させる政策分野

- ・市民一人ひとりの「暮らし」と生活の場である「地域」に着目
- ・子ども・若者・高齢者等のライフステージ、地域の安全・快適等を想定

②「都市の魅力」を高める政策分野

- ・環境・交通・都市機能や都市の魅力づくりを体系化
- ・グランドデザイン、産業活性化、杜の都の持続的発展、観光、イベント・まつり、広域連携、国際交流等を想定

4. 区別計画

◎総論＝区別計画の目的・構成・基本的視点等

◎各区ごとの区別計画は、各区が主体となり、地域住民の意見やニーズを踏まえながら策定

- ①区の現状・課題
- ②主な施策の基本方向
- ③主な地域ごと施策の基本方向

* 最終的に審議会に報告し、答申に内包する手続きを検討

5. 基本計画の推進

○総合計画の推進部分の各論

- ・ 新たな市民協働のあり方
- ・ 庁内横断的取り組み
- ・ 行財政改革の推進
- ・ 計画的推進 等を想定

* 構成も含め、引き続き内容を精査・検討

実施計画概要（案）

○基本計画の中期的行動計画

分野別計画・区別計画に基づく中期的期間の事業内容

* 計画期間＝3年を基本に検討

* 具体の構成・内容、財政的裏づけも含め検討